

おおぞらっこ ニュース

志紀おおぞらこども園
第7号
発行者：岡内郷子
2025, 6, 19



ねらい

- 自分がどこから生まれてきたのかを理解し、大切に育ててもらったことを知る。
- 自分の体や命を大切にし、自尊感情を育む。
- プライベートゾーンなど他人に見せてはいけない部分があることを知り、正しい知識を得る。



「わあ、せま！」と言いながら子宮トンネルの中で丸まっている子どももいました。(落ち着くのでしょうか…)トンネルの中からは、外の様子がうっすら見えたり音が聞こえたりすることも体験してみて分かりました。

～プログラム～

- * 心臓の音を聞いてみよう
 - * 命はどうやってつながっているの
 - * 命のはじまり
 - * お腹の中のかかちゃんの成長について
 - * 子宮の中の体験
 - * 命の道と命の窓の話
 - * プライベートゾーンの話
- ↓ 体験
- ☆ 聴診器で自分の心音や友だちの心音を聴いてみよう
 - ☆ 子宮トンネルをくぐってみよう
 - ☆ 妊婦体験ジャケットを着てみよう
 - ☆ 新生児を抱っこしてみよう
(学年により、多少の変更あり)



命のはじまりは、針穴ぐらいの大きさだったんだよ。みんなは、お母さんのお腹の中で約 10 カ月間、大切に、大切に育ててもらって生まれてきたんだよ。と教えてもらいました。



生まれたばかりのかかちゃんと同じ重さのかかちゃんを抱っこした子どもたちの笑顔は、どの子も最高にいい笑顔でした！！



「お母さんのお腹、こんなに大きい？」「めっちゃ、重たい！」など、妊婦体験ジャケットを着た子どもたちからは「お母さんって、大変やなあ…」というつぶやきも…



体験後「命を大切にするためにどうしたらいい？」と担任が問いかけると「大好きだよって伝える」「ちくちく言葉じゃなく、ふわふわ言葉にする！」「嫌だと言っていることはしない！」という声が聞こえてきました。
自分や友だちを大事に思う気持ちが芽生えてきてくれたことを嬉しく思います。